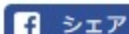


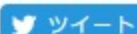
就活の「解禁破り」 中小は6割超 売り手市場続き苦心

増谷文生 2017年11月27日06時37分



シェア

11



ツイート

list



BIブックマーク

1

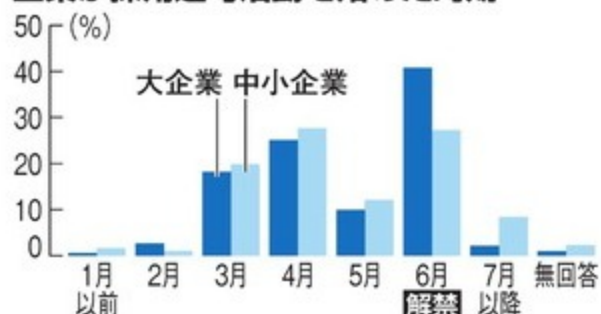


メール



印刷

企業が採用選考活動を始めた時期



企業が採用選考活動を始めた時期



広告は Google により終了しました

問題がある広告として報告

Ads by Google ⓘ

[PR]

来春卒業する大学生の就職活動で、約6割の企業が6月の解禁前に採用選考活動を始めていたことが、大学の団体でつくる就職問題懇談会の調査でわかった。「売り手市場」が続くなか、少しでも早く優秀な人材を確保しようと、特に中小企業で「解禁破り」が増えている。

調査は、規模や地域などのバランスを考慮して全国の2500社を選び、8月1日現在の状況を聞いた。回答があった社の大半にあたる962社が、今年度採用活動をしたと答えた。

大学側と経済界などが調整し、今年の採用選考活動は昨年と同じ6月に解禁された。だが、5月までに採用選考を始めた企業は、昨年より2・3ポイント多い59・3%あった。特に中小企業は62・1%と4・4ポイント増えた。一方、大企業は0・3ポイント減の56・4%だった。

また、5月までに内々定を出し始めたと答えた企業も39・6%（昨年比4・8ポイント増）に達した。大企業が39・7%（同4・1ポイント増）、中小企業は39・5%（同5・7ポイント増）だった。